

「事業名：浪江町の復興をフォローアップする地域人材育成のための保健・環境・防災教育プログラム」 令和4年度補助事業の実績・成果

弘前大学 連携市町村：浪江町

連携市町村との協定締結日：平成23年9月29日 現地拠点：双葉郡浪江町役場健康保険課内

事業のポイント

- ★弘前大学浪江町復興支援プロジェクトWGが中心となり、弘前大学浪江町復興支援室とともに浪江町を教育実践のフィールドとした事業を展開
- ★保健学および理工学系の学部・大学院生に対するフィールド活用型アクティブ・ラーニングプログラムの実践
- ★帰還後の住民や町職員のためのリカレント教育プログラムの実践と直接対話によるリスクコミュニケーションの実践
- ★フィールドワークの実践を通じて学んだ知見を地域の子供たちや住民に直接情報発信する「課題解決型情報発信の実践」

今年度の活動実績

- 弘前大学学部生および大学院生に対する人材育成
 - 1.看護学生のための教育プログラム→町職員や道の駅での健康相談を実施
 - 2.放射線防護を学ぶ学生のための教育プログラム→帰還困難区域でフィールド実習を実施
 - 3.放射線生物影響を学ぶ学生のための教育プログラム→生物多様性評価に関する体験学習を実施
 - 4.環境防災を学ぶ学生のための教育プログラム→現地実習に向けての学習を実施
 - 5.環境放射能を学ぶ学生のための教育プログラム→帰還困難区域や請戸川でフィールド調査を実施
- 放射線リスクコミュニケーションの体験型アクティブ・ラーニングと地域の人材育成
 - 1.町民を対象とした放射線リテラシー醸成の教育プログラム
 - 町の第一次産業に関連する放射線の情報提供をとおして専門家と住民間で意見交換を実施
 - 2.こども園職員自身が放射線リスクコミュニケーションを実践するための教育プログラム
 - 職員の状況（測定手技、実施体制、保育業務との両立を阻害する因子）を把握し課題を明確化

今年度の成果

- 専門的な人材育成（学部生・大学院生）
地域の健康ニーズを考えることができる人材、環境モニタリングとデータ解析・伝達に対応できる人材、浪江の自然と生物多様性の保全を学んだ人材、環境防災を考え危機管理能力を持つ人材、環境放射能調査を学んだ人材を育成することができた
- 地域の人材育成（浪江町民、周辺住民）
放射線を正しく理解し、自ら情報を発信できる地域の人材を育成するプログラムの土台ができた
- 次世代（児童生徒）の人材育成実施内容の成果と課題を町やなみえ創成小・中学校と共有できた



プログラム参加者のべ数 (現地・オンライン)

教職員	206 名
学生	179 名
現地 小中学生・社会人	94 名